

令和8年度事業計画書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

特定非営利活動法人カシオペア医療介護支援センター

1 事業内容

令和8年度は、これまでの取組みにより構築してきた地域の医療・介護・福祉行政関係者間の連携基盤及びICTを活用した情報共有体制を基盤として、在宅医療・介護連携の更なる推進と地域包括ケアシステムの深化に向けた取組みを実施する。

具体的には、地域内の多職種で構成されるカシオペアNET検討委員会及び包括支援部会による協議を継続するとともに、カシオペアNETの次段階の運用に向け、医療機関・職種を中心とした専門部会として「医療部会（仮称）」の設置を進め、ICTを活用した地域連携の仕組みの高度化を図る。

また、カシオペアNETについては、地域の医療・介護・福祉行政関係者間の情報共有を支える基盤として機能拡充及び参加施設の拡大を進めるとともに、関係機関のニーズを踏まえたアプリの活用支援を行う。さらに、国が進める介護情報基盤との情報共有の在り方についても、関係機関と連携しながら検討を進める。

あわせて、医療・介護・福祉行政関係者からの相談に対応する体制の整備を進め、地域における在宅医療・介護連携の推進を支援する。

これらの取組みを通じて、医療・介護・福祉行政関係者間の連携強化とICTを活用した情報共有体制の充実を図り、地域の実情に応じた切れ目のない在宅医療・介護連携体制の構築を推進する。

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

①地域の医療・介護資源の情報収集・整理

- ・医療・介護・福祉行政関係者の連携に必要な情報を提供するため、医療機関、介護事業所、地域包括支援センター等の情報収集及び整理を継続し、カシオペアNET上の「カシオペア機関・施設窓口情報」の更新及び内容の充実を図る。
- ・カシオペアNETを地域の医療・介護・福祉資源に関する情報基盤として活用し、参加施設の拡大を図るとともに、地域における連携体制の強化を進める。

②カシオペア地域医療・介護マップの作成

- ・医療機関及び介護事業所等の情報を一体的に整理した「カシオペア地域医療・介護マップ」の作成を進めるため、必要な情報の収集及び整理を継続して実施する。

(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

①地域関係団体等による協議の実施

- ・カシオペアNET検討委員会及び包括支援部会を継続して開催し、地域における在宅医療・介護連携の課題の共有及び対応策の検討を行う。
- ・ICTを活用した情報共有の推進及び地域包括ケアシステムの構築に向け、関係機関との情報交換及び意見交換を実施する。

②医療部会（仮称）の設置

- ・カシオペアNETの次段階の運用に向け、医療機関を中心とした専門部会として「医療部会（仮

称)」の設置を検討する。

- ・医療機関、訪問看護ステーション等の関係者による協議を行い、在宅医療におけるICTを活用した情報共有の在り方及びカシオペアNETの医療分野における活用方法について検討を進める。

③関係機関との協議及び情報共有

- ・各市町村及び関係機関との個別会議を通じて、地域課題の共有及び具体的な連携方法について協議を行う。

④「在宅医療に必要な連携を担う拠点」としての取組みの推進

- ・二戸保健医療圏における「在宅医療に必要な連携を担う拠点」として、ICTを活用した情報共有基盤の活用を進めながら、在宅医療に関わる関係機関との連携調整及び情報共有を行い、地域における在宅医療連携体制の充実に向けた取組みを継続する。
- ・医療・介護・福祉行政関係者との連携のもと、地域の在宅医療に関する課題の把握及び対応策の検討を行い、関係機関間の調整及び情報共有を進める。
- ・岩手県医療政策室及び関係機関との意見交換や研修会等への参加を通じて、県内における在宅医療連携拠点の取組み状況や課題について情報収集及び共有を行い、地域の実情に応じた取組みの推進を図る。

(3) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進

①多職種連携体制の推進

- ・カシオペアNET検討委員会及び包括支援部会等を通じて、多職種間の情報共有及び意見交換を継続し、在宅医療の提供に必要な連携体制の強化を図る。
- ・退院支援から在宅療養、急変時対応及び終末期医療までを見据えた連携体制の構築に向けた協議を行う。

②ICTを活用した情報共有の推進及び機能の充実

- ・多職種による情報共有及び連絡調整を円滑に行うため、ICTを活用した情報共有基盤としてカシオペアNETの運用を継続し、在宅医療・介護連携における活用を推進する。
- ・これまでの運用実績を踏まえ、医療機関、訪問看護ステーション、介護事業所等の関係機関に対し利用促進を図るとともに、参加施設及びユーザーの拡大に向けた取組みを進める。
- ・合同カンファレンスや日常的な連絡調整等における活用を支援し、多職種間の情報共有及び連携体制の強化を図る。
- ・これまで訪問診療及び訪問看護を中心として運用してきた体制を踏まえ、地域包括ケアシステムに対応したより効果的かつ効率的な情報共有ツールとして活用できるよう、関係機関の意見を踏まえながら機能改善及び運用方法の検討を進めるとともに、必要に応じて関連アプリの活用及び機能の検討を進める。
- ・関係機関を対象とした説明や活用支援を行い、地域におけるICTを活用した情報共有の定着を図る。

(4) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

①医療・介護・福祉行政関係者からの相談対応

- ・在宅医療・介護連携及びカシオペアNETの利用に関する相談に随時対応し、必要に応じて関係機関との調整を行う。

②相談支援体制の整備

- ・地域における在宅医療・介護連携に関する相談に適切に対応できるよう、相談支援体制の整備を進める。

(5) 地域住民への普及啓発

①講演会・セミナー等の開催

- ・地域住民を対象とした講演会等を開催し、在宅医療、終末期医療及び意思決定支援（ACP）に関する理解促進を図る。

②ホームページ運営及び広報誌の発行

- ・ホームページを活用し、講演会案内、活動報告等の情報発信を行う。
- ・広報紙「カシオペアネットワーク通信」を発行し、活動状況の周知を図る。

(6) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①情報共有ツールの整備及び運用の推進

- ・ICTを活用した情報共有基盤としてカシオペアNETの安定的な運用を継続し、地域の在宅医療・介護連携を支える情報基盤としての活用を推進する。あわせて、地域包括ケアシステムに対応した連携システムとするため、関係機関の意見を踏まえながら、カシオペアNETの機能の充実及び運用方法の検討を進める。また、カシオペアNETのセキュリティ確保のため、安全に利用できる仕組みとして二要素認証の検討導入を進める。
- ・カシオペアNET検討委員会及び包括支援部会等における協議を通じて、在宅医療・介護連携におけるICT活用の在り方について検討を行い、地域の実情及び将来的な連携体制を見据えたシステム整備を進める。

②介護情報基盤との共有に関する検討

- ・国が進める介護情報基盤との連携を見据え、カシオペアNETとの情報共有の在り方について関係機関と検討を行う。

③会議・研修会等への参加及び情報提供

- ・関係機関が開催する会議・研修会等へ参加し、地域連携の取組み及びICTを活用した情報共有について説明及び情報提供を行い、在宅医療・介護連携への理解促進を図る。

(7) 知識習得のための研修など地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援

①カシオペアNETフォーラムの開催

- ・医療・介護・福祉行政関係者を対象として、在宅医療・終末期医療及び多職種連携に関する理解を深めるためのフォーラムを開催する。

②操作説明及び活用支援

- ・カシオペアNETの利用促進及び実務能力向上のため、関係機関を対象とした操作説明会を実施する。
- ・フェーズ運用にあわせた職種ごとの説明会を通じて、日常業務におけるICT活用を支援する。

2 事業の実施に関する事項

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数
在宅医療介護 連携推進事業	医療介護連携に必要な情報の把握・整理、医療介護資源の情報共有と活用、関係機関の連携体制の構築及び多職種連携の推進、医療・介護・福祉行政関係者からの相談対応、地域住民への普及啓発、医療・介護関係者の情報共有の支援	通年	二戸市 一戸町 軽米町 九戸村	5人	・病院、医科・歯科診療所、薬局、訪問看護事業所、介護事業所及び行政機関等 (約250事業所) ・二戸市、一戸町、軽米町及び九戸村に居住する全ての住民 (約47千人)
医療機関、介護系施設等における情報通信技術を活用した診療情報等の共有化を推進する事業	カシオペアNET検討委員会及び専門部会の開催、カシオペアNETの活用推進及び機能強化	通年	同上	5人	同上
セミナー・研修会等の見識を広げる(深める)事業	カシオペアNETフォーラムの開催、カシオペアNET操作説明の実施	通年	同上	5人	同上
福祉・介護・医療情報ネットワークの運営事業	カシオペアNETの構築・運営	通年	事務局	5人	同上
福祉・介護・医療情報ネットワークに係るホームページ運営事業	ホームページの運用、情報更新	通年	事務局	5人	同上